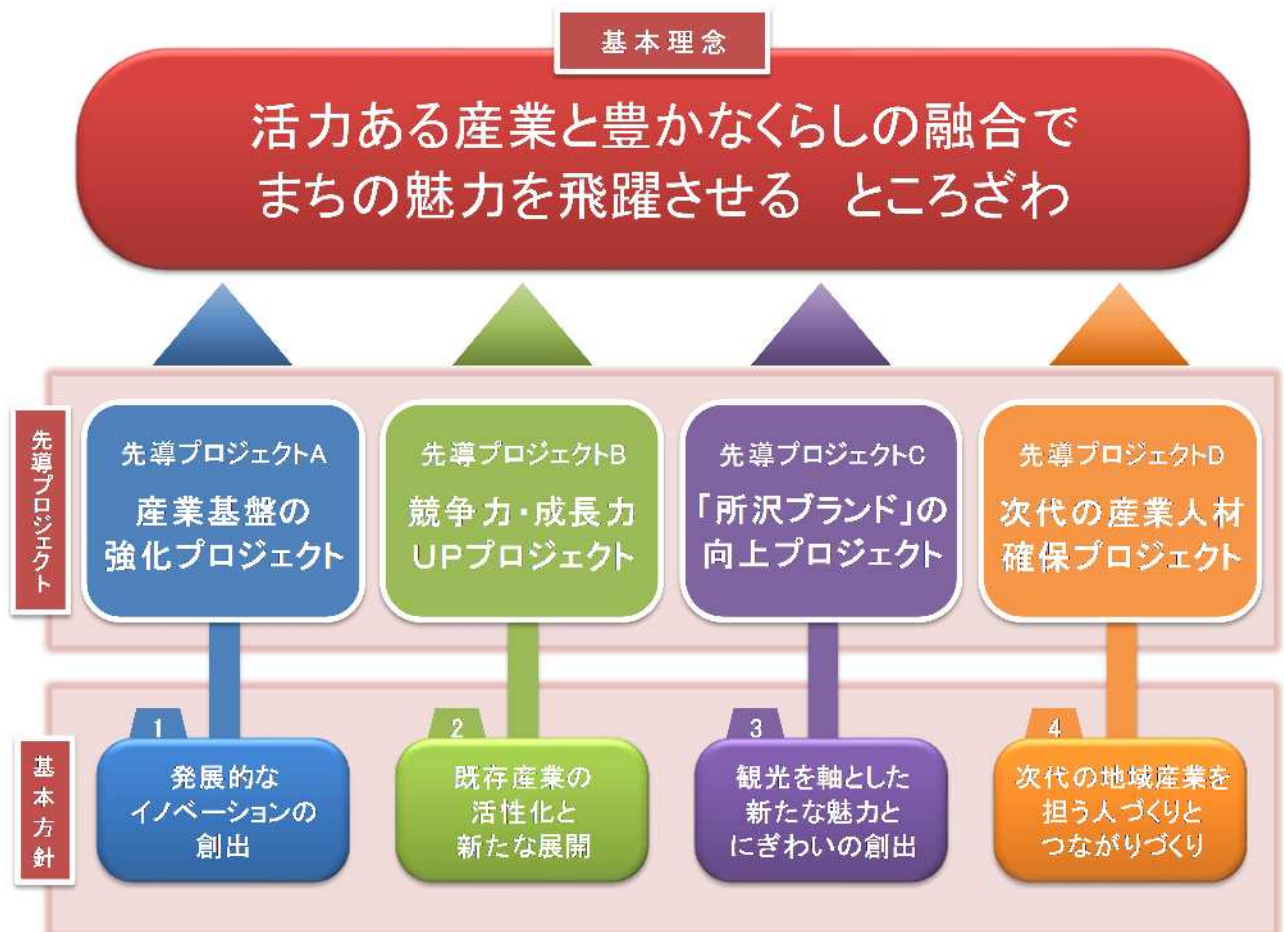
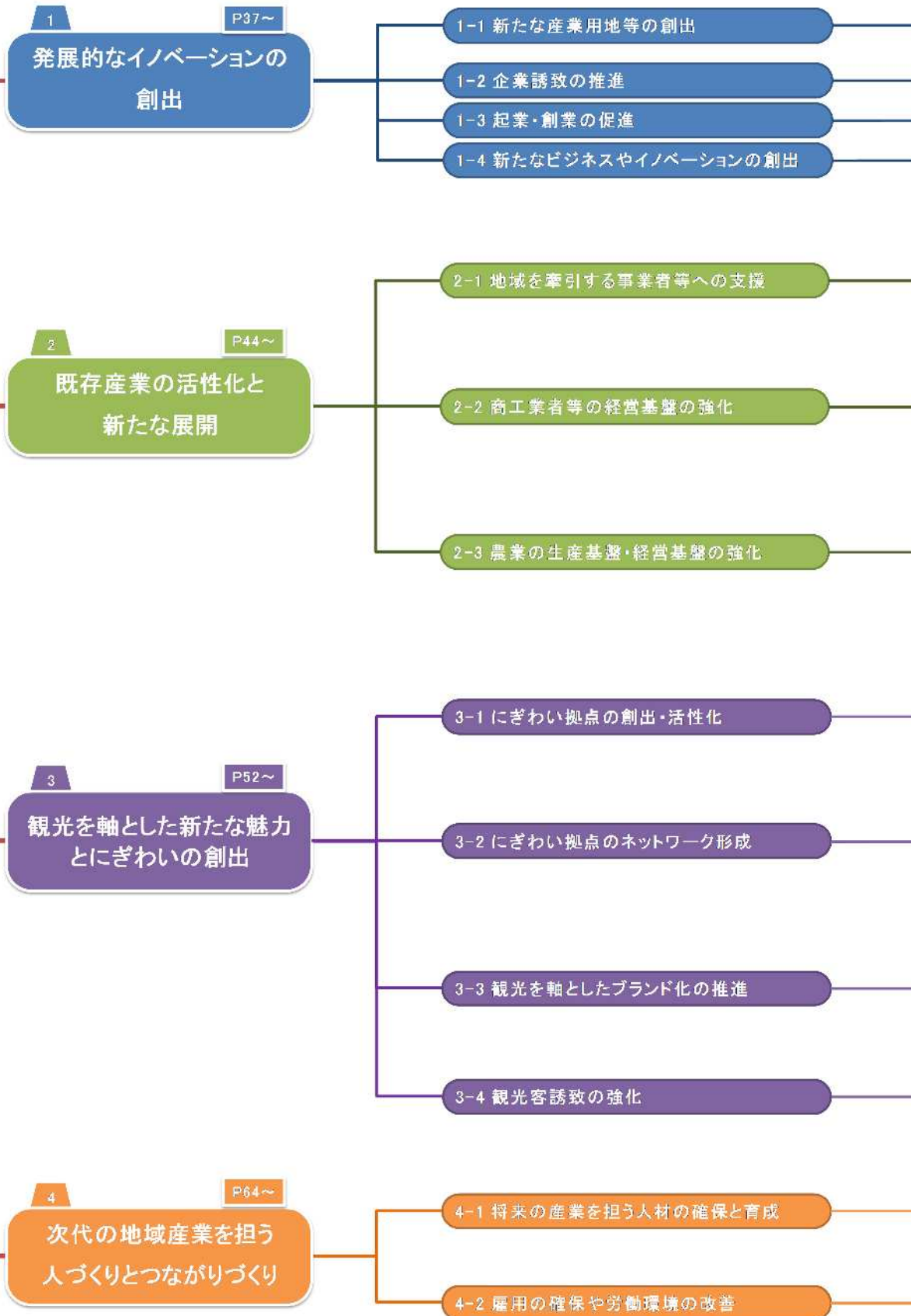


5 - 1 産業振興施策の体系

本ビジョンの**基本理念**、「活力ある産業と豊かな暮らしの融合で まちの魅力を飛躍させる ところざわ」を実現するため、4つの「**基本方針**」とそれに基づき展開される「**施策の柱**」を設定し、具体的な事業を整理・推進していきます。

さらに、これらの施策のうち、特に重点的・先行的に取り組むべき事項を、それぞれの基本方針ごとに「**先導プロジェクト**」として抽出し、ビジョンの前期5年間に集中的に人的資源や経営資源を投入することにより、基本理念の早期達成を目指します。





主要施策

- 1-1-1 土地利用見直し等による産業基盤の整備促進
- 1-1-2 まちなか未利用スペースの活用
- 1-2-1 立地メリットを生かした産業等の誘致促進
- 1-3-1 起業家・創業者の発掘・育成の推進
- 1-4-1 同業種・異業種連携や産学官連携の促進

- 2-1-1 新産業・新分野への展開の促進
- 2-1-2 地域産業を牽引する事業者等の成長支援
- 2-2-1 資金調達の円滑化促進
- 2-2-2 産業動向の把握と的確な支援情報の提供
- 2-2-3 マッチングの推進による販売の促進
- 2-2-4 経営アドバイスの充実
- 2-2-5 産業関連団体活動の活性化
- 2-3-1 遊休農地の利用促進
- 2-3-2 農業振興地域整備計画等の見直し
- 2-3-3 農業経営の安定強化

- 3-1-1 観光拠点の整備・充実
- 3-1-2 中心市街地の活性化
- 3-1-3 狭山丘陵の魅力の発掘・向上
- 3-1-4 商店街の活性化
- 3-2-1 にぎわい拠点間の回遊性の向上
- 3-2-2 広域連携による観光の振興
- 3-2-3 観光客の受け入れ環境の充実
- 3-3-1 地域産品のブランド化の推進
- 3-3-2 食を通じた新たな魅力の創出
- 3-3-3 農のあるまちづくりの推進
- 3-3-4 地産地消の推進
- 3-3-5 ブランド価値の向上
- 3-4-1 効果的な観光客誘致プロモーションの推進

- 4-1-1 人材(担い手)の確保・育成の推進
- 4-1-2 円滑な事業承継の推進
- 4-2-1 新たな雇用の受け皿の確保・創出
- 4-2-2 働きたい人が働ける環境づくり
- 4-2-3 勤労者福祉の向上と労働環境の改善

先導プロジェクト(◎実現に向けた取組)

A 産業基盤の強化プロジェクト(P41~)

- ◎まちなか未利用不動産に係る情報収集と有効活用
- ◎製造業及び都市型産業の誘致
- ◎(仮称)企業誘致連絡会の開催
- ◎関連機関と連携した総合的な起業・創業の促進
- ◎農商工連携の推進

B 競争力・成長力UPプロジェクト(P49~)

- ◎新製品開発や販路拡大等の促進
- ◎関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進
- ◎認定農業者等の経営改善等の促進

C 「所沢ブランド」の向上プロジェクト(P61~)

- ◎「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
- ◎狭山丘陵の潜在的魅力の活用
- ◎商店街による先進的な取組の推進
- ◎「狭山茶」のブランド力の向上
- ◎農業体験の推進
- ◎メディアを活用したプロモーションの充実

D 次代の産業人材確保プロジェクト(P67~)

- ◎卒卒者など若年人材の確保の推進
- ◎新規就農者や農業後継者に対する取組の充実
- ◎事業承継に関するセミナー・相談会の実施
- ◎女性や高齢者等の就労支援



5 - 2 基本方針及び先導プロジェクト

基本方針 1：発展的なイノベーションの創出

【施策の視点】

本市は、都心から 30 km圏内と通勤・通学圏にありながら、恵まれた自然環境や豊富な住宅ストック、生活関連施設や教育文化施設を有しており、全国各地をつなぐ高速交通網までのアクセスも容易であるなど、生活と産業の両立ができる条件が整っています。

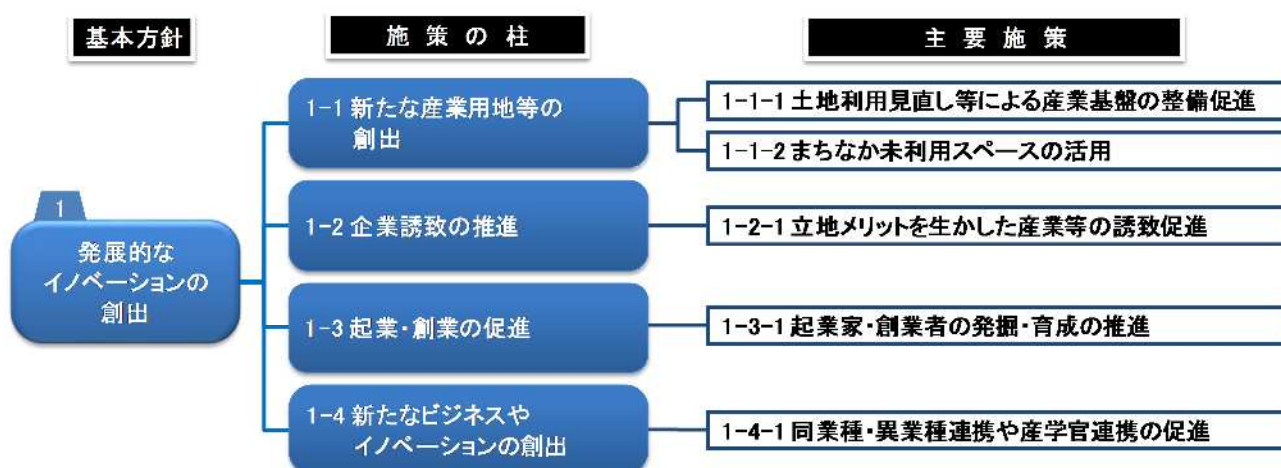
しかしながら、市域の約 4 割の市街化区域のうち、産業系土地利用にふさわしい工業系・商業系の用途地域の占める割合が 8 %であることから、市外から企業立地のニーズはあっても十分受け止められていない状況にあります。

このため、土地利用の適切な見直しを図りながら、新たな産業用地を創出し、企業誘致を進めて新たな雇用の創出を図ります。

また、まちなかの未利用スペースや空き店舗等の遊休資源を活用して起業・創業を促進するなど、新たな産業を創出しやすい環境を整備していきます。

さらに、高等教育機関や企業・事業所、商店街、農家など、業種や分野を超えた事業者間の連携や交流を深めるとともに、ニーズに的確に対応できる取組や波及効果の高い先駆的な取組等に対しては積極的に支援を行うなど、農商工連携を一層推進し、新たな商品やサービスの開発、流通ルートの確保を図り、新たな産業を創出しやすい環境を形成していきます。

すなわち、産業用地の創出等による企業の立地や、起業家及び創業者の発掘・育成、同業種・異業種連携による新たな商品やサービスの創出など、新たな産業の流入・創出や既存産業の拡大といった産業活動全般の発展による革新（イノベーション）の創出を図ります。



施策の柱 1 - 1 : 新たな産業用地等の創出

本市の用途地域のうち、工業系用途地域の占める割合は約3%に過ぎません。また、市内には三ヶ島工業団地と松郷工業団地の2つの工業団地がありますが、これらの面積はいずれも3~4haと小さく、市外から事業所の立地についての問い合わせがあっても、そのニーズに応えられない状況が続いています。

そこで、今後、市外からの新たな企業誘致の推進や市内事業所の事業拡大ニーズに対応するためには、受け皿となる産業用地の創出を図るとともに、市内の空き店舗や空きオフィスといった遊休施設を有効活用するなど、企業活動の場を整備・確保していきます。

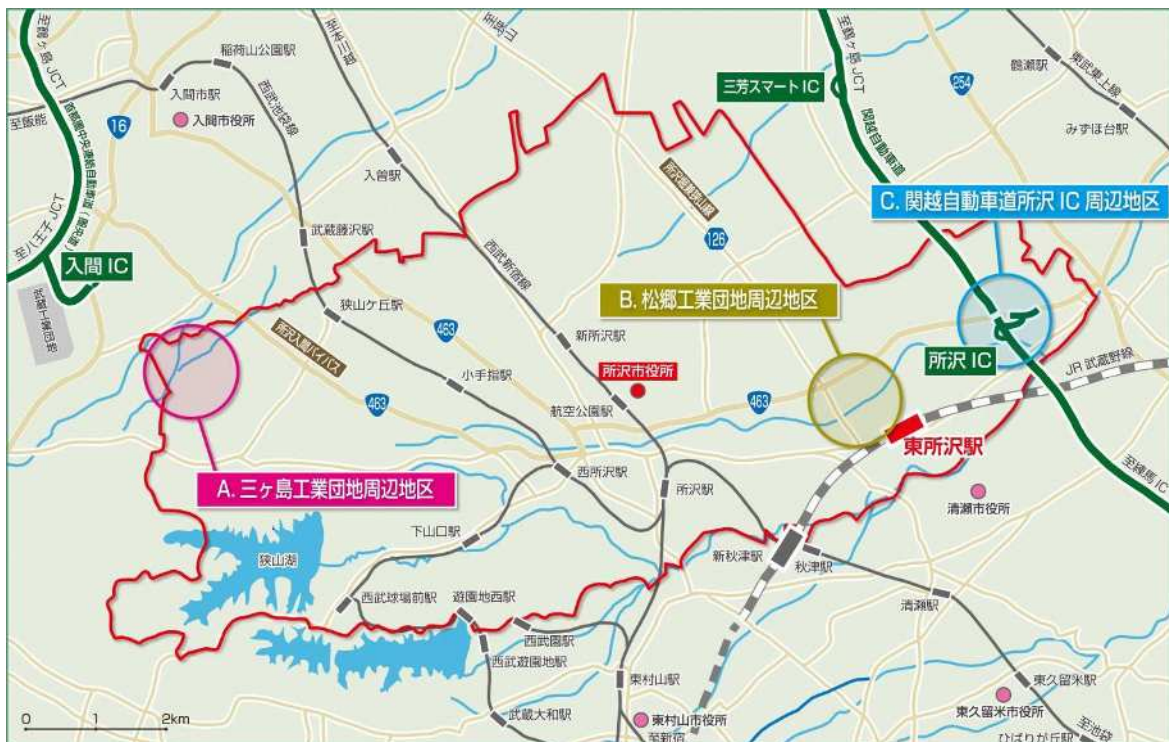
主要施策 1 - 1 - 1 : 土地利用見直し等による産業基盤の整備促進

新たな産業の立地・誘導を促進するため、既存の工業団地の拡張や、所沢インターチェンジ周辺等での新たな産業用地の創出を目指します。

また、市内の空き工場・空き工業用地等のデータベース化や産業用地に関する情報発信を図るなど、事業所の立地を円滑に誘導するための体制を構築します。

主要施策 1 - 1 - 2 : まちなか未利用スペースの活用

まちなかの空き店舗や空き家など、産業系用途に活用可能な未利用不動産に関する情報について、関係機関や事業者と連携して、立地を希望する市内外の事業者とのマッチングを図ることなどにより、まちなかにおける新たな事業活動の展開と市街地の活性化につなげます。



新たな産業用地の創出を図る「土地利用転換推進エリア」の位置図

資料：所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年度改訂版）（所沢市）



施策の柱 1 - 2 : 企業誘致の推進

都心からの交通アクセスに優れた本市は、豊富な住宅ストックや水とみどりに囲まれた生活環境も併せ持っており、職住近接型の企業誘致を図る上で適した条件が整っています。

また、「COOL JAPAN FOREST 構想」の実現に向けた取組を契機に、今後はアニメーション・コンテンツ産業^{*16}や ICT 関連産業など、大都市近郊の優れた立地特性を生かした産業の集積が期待されています。

一方で、市内には宿泊施設が少ないことから、事業所の立地に進展がみられても、ビジネス向けの宿泊者が市外に流出しているという課題を抱えています。

そこで、立地上の優位性や支援施策等について積極的な PR を行うなど、企業立地を促進するための環境づくりを進めます。

主要施策 1 - 2 - 1 : 立地メリットを生かした産業等の誘致促進

市内に新たに立地する企業・事業所に対する支援策の充実や、企業誘致活動に関わる関係主体との情報交換の機会を設けるなど、本市への企業立地を促進するための環境づくりを進めていきます。



工業立地に係る本市の特性及び産業支援策を企業へ PR するための宣伝素材



^{*16} コンテンツ産業...映画、アニメ、ゲーム、書籍、音楽等の制作・流通を担う産業の総称。

施策の柱 1 - 3 : 起業・創業の促進

起業・創業は、地域経済の新陳代謝が活発化するとともに、革新的な技術やサービス等が市場に持ち込まれ、新たな価値を創出して経済成長を牽引する成長力の高い企業が誕生する可能性を秘めています。

中小企業の多い本市においても、生活ニーズが多様化しつつある中で新たな市場ニーズに応えていくためには、こうした起業・創業を活発化させていく必要があります。

そこで、市内で新たに起業・創業を志す個人や第二創業¹⁷を目指す事業者に対する取組の充実を図り、起業家が育つ環境を整備します。

主要施策 1 - 3 - 1 : 起業家・創業者の発掘・育成の推進

所沢商工会議所とも連携しながら、事業化に向けた相談会やセミナーを開催するなど、起業・創業に関する相談体制の充実を図り、市内での起業・創業を後押しします。

また、商店街の空き店舗の解消と商店街全体の活性化に向け、空き店舗を活用した新店舗の立ち上げを促進するなど、市内商業の新たな担い手の確保に努めます。



起業入門セミナー 開業 Cafe

施策の柱 1 - 4 : 新たなビジネスやイノベーションの創出

地域産業の活性化に向け、新たなビジネスの芽を生み出し、革新的な技術やサービスの提供を果たしていくためには、同業・関連事業者間の提携や共同作業、協業・分業にとどまらず、自社と異質性のある事業所や研究機関等との密接な連携を促し、異なる分野の技術やサービスを組み合わせるといった取組を通じて、より付加価値の高い技術やサービスを生み出していくことが求められます。

そこで、市内外の高等教育機関等との連携の推進等により、新たなビジネスや発展的なイノベーションの創出を図るなど、地域産業の高付加価値化を目指します。

主要施策 1 - 4 - 1 : 同業種・異業種連携や産学官連携の促進

農業・商業・工業・観光業等の業種を超えた交流やビジネスマッチングを図るとともに、地元農産物を活用した新たな商品やサービスを生み出す機会を創出します。

また、本市と連携協定を締結している高等教育機関や市内の研究機関等も含めた産学官連携を推進することにより、医療・福祉系産業の創出や農業の高度化・農産物の高付加価値化など、新たなビジネスやイノベーションの創出を図ります。



農工商連携のための
きっかけづくり交流会

¹⁷ 第二創業...中小企業等で新しい経営者が就任し、先代から引き継いだ事業の業務転換をしたり、これまでとは別の分野や新たな事業に進出すること。



先導プロジェクト A：産業基盤の強化プロジェクト

市内の未利用スペースの活用も含め、土地利用を見直しながら新たな産業用地の創出を図るとともに、交通利便性が高く災害にも強いといった本市の優れた立地特性を積極的に PR する等により、製造業及び都市型産業を対象とした企業誘致を推進し、市内立地企業の拡大を図ります。

また、企業誘致に係る関係者間の連絡組織を立ち上げ、情報交換を積極的に行うことにより、市内での新たな産業の創出促進に向けた場や機会を充実させます。

さらに、分野や業種を超えた横断的な連携を推進し、新たなビジネスや事業の開発を集中的に支援するとともに、市内での起業・創業を積極的に支援します。

実現に向けた取組

製造業及び都市型産業の誘致

- ・製造業に加え、大都市近郊の優れた立地特性を生かし、情報・通信関連産業、アニメーション・コンテンツ・ICT 関連産業等の都市型産業を対象とした誘致活動を展開します。

まちなか未利用不動産に係る情報収集と有効活用

- ・公共用地や公共施設、民有地、住居等市内の未利用スペースを、産業系の用途として有効活用することにより、新たな産業基盤を創出します。

(仮称)企業誘致連絡会の開催

- ・所沢市への誘致活動における関係者が一堂に会し、現状や課題の情報交換等を行う連絡会を開催することで、誘致活動の活性化を図ります。

関係機関と連携した総合的な起業・創業の促進

- ・関係機関と連携しながら、相談窓口の充実を図るなど、起業・創業に対する総合的な支援を行い、創業の芽を育みます。

農商工連携の推進

- ・農産物等の豊富な地域資源を生かし、農業者と商工業者が協力して、お互いの強みを生かした新商品や新サービスの開発、販路開拓などを推進します。

計画期間における目標指標

指標名	現状値	目標値				
	2014	2018	2019	2020	2021	2022
総生産額	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)
第1次産業から第3次産業の総生産額の合計。現状値は平成26(2014)年度埼玉県市町村民経済計算。	8,113	8,194	8,275	8,356	8,438	8,519

重点事業 1 企業誘致推進事業【既存・バージョンアップ】

企業立地支援条例を拡充し、既存の対象業種（製造業等）に加え、本市の大都市近郊の優れた立地特性が生かせる都市型産業（情報・通信関連産業、アニメーション・コンテンツ・ICT 関連産業等）を対象とした奨励金の交付等により、その誘致と集積を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間		←————→								
目標 指標	【指標】 奨励金交付件数									
	3件	3件	4件	5件	6件	6件				

重点事業 2 (仮称)未利用スペースオフィス化事業【新規】

都市型産業を積極的に誘致するうえで必要となる立地対象地を創出するため、市内の空き店舗等の未利用不動産について、補助金の交付等により産業系の用途としての活用を促進します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間		●	————→							
目標 指標	【指標】 補助金交付件数									
	-	0件	5件	10件	10件	10件				

重点事業 3 農商工連携推進事業【既存】

農業・商業・工業の事業者を集めた交流やビジネスマッチングを図る機会の創出等により、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間		————→								
目標 指標	【指標】 新たな商品やサービス等の創出									
	1件	3件	3件	3件	3件	3件				



所沢駅東口駅前に建設された
日本光電工業(株)総合技術開発センター



「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を
契機に結成された「とこ産食プロジェクト」



アクションプラン

主要 施策	主な取組	スケジュール(年度)			取組主体			
		2018 }	2019 }	2023 }	市	商 工 会 議 所	団 体 ・ 機 関 等	事 業 者
1-1-1	市街化区域編入等による産業用地の創出							
	空き工場・空き工業用地のデータベースの整備							
1-1-2	まちなか未利用不動産に係る情報収集と有効活用							
1-2-1	製造業及び都市型産業の誘致							
	宿泊施設の誘致							
	コンテンツ・ICT 産業の集積 (仮称)企業誘致連絡会の開催							
1-3-1	関係機関と連携した総合的な起業・創業の促進							
	空き店舗活用・新規創業の促進							
1-4-1	農商工連携の推進							
	産学官等連携の推進							

アクションプランの見方について

- ・ (オレンジ色) の取組は、「先導プロジェクト」の「実現に向けた取組」です。
- ・ 「スケジュール(年度)」は、それぞれの取組が一定の成果(実績)をあげると想定する時期です。
- ・ 「スケジュール(年度)」の記号のうち、 } は新規、 } は既存を表しています。



基本方針 2：既存産業の活性化と新たな展開

【施策の視点】

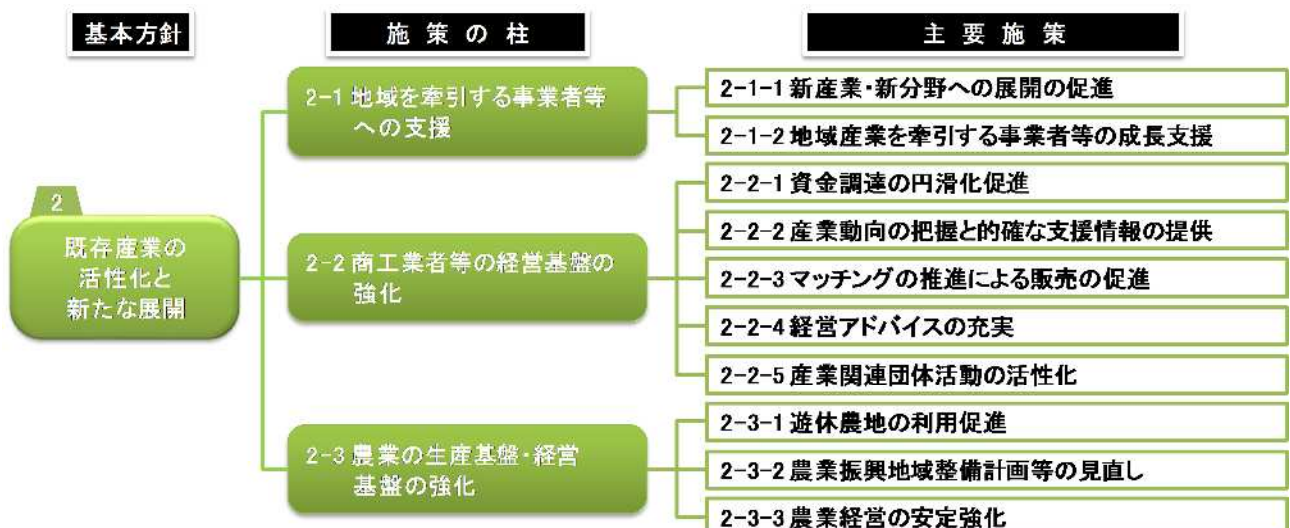
市内には多くの中小企業や商店、事業所、産業関係団体等がありますが、地域経済の活性化を図るためには、これらの中小企業者等の振興が不可欠です。しかし、市内事業所等に対するアンケート調査の結果をみると、半数近くの事業所で売上高や営業利益が減少傾向にあり、またヒアリング調査でも、今後の見通しも不透明という意見が多いなど、市内の多くの事業所や商店等の経営を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

中小企業や商店等は社会経済情勢など外部環境の変動に影響を受けやすいという弱点はありますが、一方で、小規模だからこそ、製品やサービスの提供において、きめ細かいニーズに対応しやすいというメリットや可能性も存在しています。

このため、独自技術等を持ち、地域にとって良い波及効果をもたらす事業者を集中的・優先的に支援することにより、地域産業全体の底上げと活性化を図ります。

また、市内事業所等に対するアンケート調査でも市内事業者からニーズの高かった設備投資や運転資金の資金調達の円滑化を促進し、経営基盤の強化を図るとともに、国や県、本市の産業支援施策に関連する情報を的確に提供したり、関係機関と連携して経営相談のための相談体制を充実するなど、環境を整備していきます。

本市の農業の振興においては、農用地の有効利用と生産性の向上を目指し、農用地の利用状況を含め農地情報を的確に把握・蓄積しつつ、社会経済情勢の変化や今後の農業を取り巻く動向を見据えたうえで、農業振興地域整備計画の見直しを行うなど、良好な営農環境の整備を図ります。また、認定農業者^{*18}や農地所有適格法人^{*19}に対する支援をはじめ、農業経営の近代化や環境に配慮した農業の展開を推進していきます。



^{*18} 認定農業者...農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農地所有適格法人。

^{*19} 農地所有適格法人（農業生産法人）...法人形態によって農業を営む法人のうち、農地法第2条第3項の要件に適合し「農業経営を行うために農地を取得できる」農業法人を指す。平成28年4月1日施行の改正農地法により、「農業生産法人」は「農地所有適格法人」に呼称が変更となり、要件が緩和された。



施策の柱 2 - 1 : 地域を牽引する事業者等への支援

市内事業所等に対するアンケート調査によれば、工業事業所の2割弱は「他社にはない製品や技術、特許など」を持っており、商業においても「オリジナル商品の開発や販売」や「个性的な顧客サービスを実施している」事業所は3割程度みられます。また農業をみても、認定農業者制度の認定を受けている農業者や「今後認定を受けたい」とする農業者は3割以上みられます。

このような、独自技術を有する事業者や積極的に経営革新を図ろうとする事業者、新たな商品やサービスを開発した事業者は、単に高い競争力を有するというだけではなく、市内の関連産業に対して大きな波及効果をもたらすと期待されます。さらに今後、こうした事業者間の異分野・異業種連携を積極的に図ることにより、さらに新たな事業やサービスの創出につながり、本市産業が飛躍的に前進すると期待されます。

そこで、こうした地域産業を牽引する事業者による新産業・新分野の展開につながる取組を積極的に支援していくとともに、優れた独自技術やサービスを有する事業者に対しては、事業の展開や拡大に向け積極的に支援していきます。

主要施策 2 - 1 - 1 : 新産業・新分野への展開の促進

複数事業者による販路開拓・新商品開発に係る共同研究や活性化への取組をはじめ、事業者の設備投資や経営改善等につながる取組を促進し、地域産業の高付加価値化や発展的なイノベーションの創出を図る取組を推進します。



市内事業者の高付加価値製品の一例（世界のモータースポーツで使用されているワイヤーハーネス）



CAD を使用した商品開発（イメージ）

主要施策 2 - 1 - 2 : 地域産業を牽引する事業者等の成長支援

競争力のある技術やサービスを提供している事業者等に対して、関係機関と連携して専門的な相談体制を充実させるなど、積極的・集中的に支援していきます。

また、本市の農業を牽引する認定農業者等に対しては、経営環境を改善するための施設・設備の高度化や新たな農業展開への支援を行うなど、大消費地に近い有利な立地条件を生かした都市近郊農業^{*20}のさらなる発展と活性化を図ります。



認定農業者に対する設備投資の支援

^{*20} 都市近郊農業...大都市の周辺で行われる農業。

施策の柱 2 - 2 : 商工業者等の経営基盤の強化

中小企業にとって経営基盤の強化は重要な課題であり、市内事業所等に対するアンケート調査においても、市に望む支援策として、工業では「設備投資」や「運転資金への融資」が、商業・観光業では「補助金・融資等の制度拡充」が最も多く挙げられています。

また、中小企業の経営者や個人事業主等は、資金繰りや経営改善、税務・労務管理や事業承継など、経営上の様々な悩みを抱えながら、支援機関との接点が少ないため気軽に相談できる相手がなく、孤立しがちであることが指摘されています。

そこで、市内事業者の経営基盤の強化と経営の安定化を図るため、資金調達の円滑化を促進するとともに、市内産業動向の的確な把握と情報提供、それに基づく経営アドバイスの充実等の取組を推進し、中小企業等の事業活動をバックアップしていきます。

主要施策 2 - 2 - 1 : 資金調達の円滑化促進

市内事業者の資金調達の円滑化を図るため、金融機関等と連携して資金の安定的な供給に努めるとともに、埼玉県及び日本政策金融公庫の設備投資に対する利子補給など本市独自の優遇制度を整備します。



利子補給制度を利用して導入した金型工作機械

主要施策 2 - 2 - 2 : 産業動向の把握と的確な支援情報の提供

市内の経済動向に関わる調査等を実施し、本市の産業全体の動向を継続的に把握・分析するとともに、本市の産業振興施策について積極的に情報発信するなど、支援制度・事業の周知とその活用促進を図ります。



主要施策 2 - 2 - 3 : マッチングの推進による販売の促進

所沢商工会議所や金融機関のネットワーク、民間機関のマッチング事業を活用し、市内事業者のニーズやシーズのマッチングを図り、商品開発や販路開拓など新たなビジネスチャンスを創出していきます。



製造業連携等基礎データ整備事業

ものづくりマッチングプロジェクト

このサイトは、所沢市内の製造業事業所の受発注等の取引の拡大を目指し作成した、所沢市内の製造業事業所を一覧で示したサイトです。

平成24年度に所沢商工会議所が所沢市の委託を受けて行なった「製造業等連携基礎データ整備事業」の調査に基づいて作成しています（任意登録）。

製造業の皆さまのマッチングにお役立ていただければ幸いです。

随時登録の募集・更新を行っておりますので、ぜひご利用ください。

所沢商工会議所の「ものづくりマッチングプロジェクト」サイト

(所沢商工会議所ホームページ : <http://www.tokorozawa-cci.or.jp/tech-enquete/>)

主要施策 2 - 2 - 4 : 経営アドバイスの充実

所沢商工会議所中小企業相談所と連携し、中小企業をはじめとする市内事業者からの様々な経営相談に的確に対応する体制の充実を図り、事業者の経営改善と安定化を支えています。

主要施策 2 - 2 - 5 : 産業関連団体活動の活性化

所沢商工会議所をはじめ、産業関連団体と市が密に連携を図ることで、市内の産業全体の活性化を図ります。



産業関連団体を一堂に会した懇談会の様子

施策の柱 2 - 3 : 農業の生産基盤・経営基盤の強化

本市の農業は、首都圏等への出荷のみならず、地産地消の推進により、市民に安心・安全で新鮮な農作物を供給し、安全で良質な食生活を提供する重要な役割を担っています。このため、本市では、市域の5割弱を占める農業振興地域について、その土地の有効利用と農業の近代化を図るため、「所沢農業振興地域整備計画」を策定し、平成9年度には一部見直しを行いながら諸施策の計画的・集中的な推進を図ってきました。

しかしながら、近年では社会情勢の変化も含め、農家の減少や農業従事者の高齢化に伴い、市内では遊休農地が増えつつあり、2015年の世界農林業センサスでは本市の耕作放棄地面積率は全国平均以上となっています。

そこで、遊休農地の利用促進や農業基盤整備の推進を図るとともに、農業振興地域整備計画の見直しを行い、生産意欲の高い農家が安定して経営できるよう推進していきます。

主要施策 2 - 3 - 1 : 遊休農地の利用促進

市内に増えつつある遊休農地について、市民農園や観光農園、農産物直売所など都市近郊農業の特徴を生かすとともに、農地貸借に関するニーズとシーズのマッチング等を行い、遊休農地の解消と農地の利用集積、及び新たな農業の担い手の確保を図ります。



遊休農地解消のための農家相談会

主要施策 2 - 3 - 2 : 農業振興地域整備計画等の見直し

市内の農地の利用状況等を調査し、データベース化して各種業務に有効活用するとともに、社会情勢の変化や土地利用動向等を踏まえ、「所沢農業振興地域整備計画」の見直しを行います。



農地利用状況調査

主要施策 2 - 3 - 3 : 農業経営の安定強化

農業経営の安定と所得の向上を図るため、市内で生産された農産物の加工品への活用促進や6次産業化に取り組む農家等の支援を行います。

また、減農薬栽培をはじめ、環境にやさしい農業を積極的に推進するとともに、農業協同組合と連携しながら営農環境の改善に向けた取組を推進します。



所沢産農産物の加工品例



先導プロジェクト B 競争力・成長力 UP プロジェクト

本市の事業所・商店等の大半が中小規模であり、厳しい経営状況にある一方、情報化や経済のグローバル化の進展により、小規模であることが強みに代わる可能性が生まれており、独自の高い技術力を持ちグローバルに活躍する企業も増えつつあります。こうした地域にとって良い波及効果をもたらす事業者を集中的に支援し、地域経済の活性化につなげていきます。

また、設備投資や運転資金の調達、専門相談機会の拡充など、経営基盤の強化に向けた取組を充実させ、市内事業者の競争力・成長力を高めます。

農業についても、認定農業者や農地所有適格法人など、将来にわたって本市の農業を支えていく主体に対して、経営基盤の安定化を図るための取組や環境保全につながるような新たな取組を集中的に支援し、持続可能な都市近郊農業の振興を目指します。

実現に向けた取組

新製品開発や販路拡大等の促進

- 『地域資源活用・ものづくり総合支援補助金』の補助対象要件や補助対象事業の選定方法を見直し、制度のリニューアルを図ることにより、地域にとって良い波及効果をもたらす事業者による新製品開発や販路拡大等新たなチャレンジを促進します。

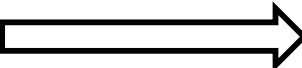
関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進

- 所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社、国の支援機関等と連携し、専門相談等の機会を拡充することで、地域の中核となる事業者を発掘し、独自技術や特長を生かした新商品・サービスの開発や海外も含めた販路開拓等の取組を支援します。

認定農業者等の経営改善等の促進

- 認定農業者は地域の農業を担う中心的な存在であり、また本市の農業を牽引する存在であるため、認定農業者が行う設備投資や新たな農業の展開に向けた取組を支援することにより、農業の近代化を図り、自立経営農家を育成し、都市近郊農業の底上げと活性化を図ります。

計画期間における目標指標

指標名	現状値	目標値				
	-	2018	2019	2020	2021	2022
製造品出荷額等	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)
市内工業事業所の1年間における製造品出荷額等の合計。現状値は平成26(2014)年経済センサス。	1,628 (2014年)	1,680	1,730	1,780	1,830	1,880
年間商品販売額	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)
1年間の市内卸売・小売業事業所における有体商品の販売額。現状値は平成26(2014)年経済センサス。	4,628 (2014年)	4,650	4,650	4,700	4,700	4,700
農業産出額	(億円)	(億円)				(億円)
農業生産活動による最終生産物の総産出額。現状値は農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果。	82.3 (2015年)	82.3				82.3

重点事業 1 地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業【既存・バージョンアップ】

市内の製造事業者や農業者等が連携して行う新製品開発や技術開発、販路開拓等に係る経費の一部を補助する「地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業」について、制度の大幅な見直しを図り、地域にとって良い波及効果をもたらす事業者等を集中的に支援する事業として推進することにより、市内製造業全体の活性化を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間		→								
目標 指標	【指標】 本事業により開発された新製品(実績)									
	3件	5件	5件	5件	5件	5件				

重点事業 2 (仮称)地域の中核となる事業者等応援事業【新規】

所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等との連携、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域中核企業^{*21}や経営革新計画^{*22}承認事業者等地域を牽引する事業者等の発掘や、これら事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行います。



	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間	●	→							
目標 指標	【指標】 本事業による派遣件数									
	-	-	5件	5件	10件	10件				

重点事業 3 認定農業者等経営改善推進事業【既存】

認定農業者に対し、経営環境の改善や環境に配慮した農業の展開等に資する施設・設備の整備・高度化に係る費用の一部を補助することにより、地域農業を牽引する市内の認定農業者の経営改善と効率化を図り、地域農業の底上げと活性化を図ります。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間		→								
目標 指標	【指標】 認定農業者数(総数)									
	166人	170人	→			170人				

*21 地域中核企業...地域の雇用への貢献や当該企業の成長が地域にとって良い波及効果をもたらすなど、地域経済を牽引する企業。

*22 経営革新計画...中小企業等経営強化法に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取組と具体的な数値目標を含んだ3年から5年のビジネスプラン。都道府県などに申請し承認を受けると、計画実行に向けた専門家の派遣等支援措置の利用が可能となる。



アクションプラン

主要 施策	主な取組	スケジュール(年度)			取組主体			
		2018 }	2019 }	2023 }	市	商 工 会 議 所	団 体 ・ 機 関 等	事 業 者
2-1-1	新製品開発や販路拡大等の促進							
	設備投資や経営改善の促進							
2-1-2	関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進							
	認定農業者等の経営改善等の促進							
	農地所有適格法人等の参入の促進							
2-2-1	制度融資等の実施							
2-2-2	市内経済動向の把握							
	各種支援制度・事業に係る情報提供の充実							
2-2-3	市内経済循環の活性化							
	ビジネスマッチングの推進							
2-2-4	関係機関等と連携した経営相談の実施							
2-2-5	産業関連団体に対する助成							
2-3-1	土地改良区内の遊休農地の活用促進							
	農地の流動化及び集約化の促進と遊休農地の活用推進							
2-3-2	所沢農業振興地域整備計画の見直し							
	農地情報のデータベース化と活用システムの構築							
2-3-3	環境にやさしい農業の推進							
	家畜の伝染病予防等の防疫対策の向上							
	農業経営安定化の促進							
	病害虫の防除の推進							
	農業者年金加入者の推進							
	農業委員会活動のPR							

アクションプランの見方について

- ・ の取組は、「先導プロジェクト」の「実現に向けた取組」です。
- ・ 「スケジュール(年度)」は、それぞれの取組が一定の成果(実績)をあげると想定する時期です。
- ・ 「スケジュール(年度)」の記号のうち、 は新規、 は既存を表しています。



基本方針 3：観光を軸とした新たな魅力とにぎわいの創出

【施策の視点】

本市は、明治 28 年に最初に鉄道が敷設されて以降、現在は西武鉄道 4 線（新宿線、池袋線、狭山線、山口線）と JR 武蔵野線の 5 路線があり、所沢駅をはじめとする市内の 11 の駅を中心に交通拠点・交流拠点として商店街等の商業集積地が生まれ、発展してきました。

一方、本市の郊外には、狭山湖や狭山丘陵などの水とみどりの豊かな地域や、三富新田などの優れた農村景観が広がっているほか、西武園ゆうえんち、西武ドーム、所沢航空記念公園といったアミューズメント施設や観光農園等の体験型観光施設、名勝・古刹・古道といった歴史的資源など、数多くの観光スポットが市内に点在しています。さらに、今後は「COOL JAPAN FOREST 構想」の進展や所沢駅周辺の再開発等により、観光客をはじめとした多くの人々が所沢の魅力求めて訪れることが期待されています。

また、新たな資源の発掘や既存資源の磨き上げによって所沢の魅力は高まり、さらには本市が進める「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点プロジェクトの 1 つである「水とみどりがつくるネットワーク」の構築が進められるなど横断的な連携にも取り組み、今後を見据えた効果的なインバウンド対応（誘致・受入体制の充実等）を推進します。

このような今後の観光動向と本市の可能性も視野に入れながら、市内の既存の観光拠点や潜在的な観光スポットに磨きをかけ、回遊性の向上によりネットワーク化を図るとともに、商店街の活性化を図り、全市的に魅力とにぎわいのある空間を形成して、地域産業全体の活性化につなげていきます。また、市内の象徴的な農産品のブランド化を図るとともに、体験農場、農作物収穫体験や地域住民との交流等を通して、生産者と消費者の相互理解を図り、「農のあるまちづくり」を目指します。

さらに、「地産地消」を推進することにより日常の中で地域の恵みや魅力を享受できる機会を増やすなど、定住と交流の両面から都市近郊農業の利点を発揮させて、生活と産業が相乗的に融合していく環境づくりを進めていきます。



施策の柱3 - 1 : にぎわい拠点の創出・活性化

裾野の広い総合産業である観光産業は、雇用創出など地域経済全体への波及効果が期待されており、今後本市では、所沢駅周辺の開発や「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進、さらに東京オリンピック・パラリンピックの開催など、観光客誘致拡大の好機が集中する転換期を迎えようとしています。

一方、市の西部に広がる狭山丘陵には、首都圏でも代表的な里山の景観や「トトコの森」^{*23}に象徴されるような雑木林や動植物等の豊かな生態系など、水とみどりの豊かな地域が残されており、全国から四季折々に多くの人々が訪れる観光・交流拠点を形成しています。今後、前述のような新たな人の流れが生まれることを視野に入れ、それぞれの持つ魅力をより高めることで、本市の多彩な魅力を発信していくことが重要となります。

また、市内には鉄道駅の周辺等に42の商店街が形成されており、市民の日常の暮らしを支えています。今後ますます高齢化が進むことが予測されるなか、商店街には、市民の日常生活に不可欠な身近な買い物を支えていくだけでなく、市内外の人々が集うコミュニティ拠点として、にぎわいのあるまちづくりや安全・安心して暮らせる地域づくりに寄与することが期待されています。

そこで、これらの既存・新規の観光拠点の整備・充実を図るとともに、中心市街地や商店街など内外の人々が集う空間の活性化を図り、市内各所ににぎわいのある場を創出していきます。

主要施策3 - 1 - 1 : 観光拠点の整備・充実

「ところざわサクラタウン」など民間が主体となって開発する観光拠点にあわせ、旧コンポストセンターの利活用を含めた周辺整備を進め、新たな観光・交流拠点としての集客効果を高めるとともに、既存の観光施設の維持管理や新たな観光スポットの発掘等を通じて、観光産業の活性化を図ります。



「ところざわサクラタウン」周辺の整備計画



比良の丘



クロスケの家 (三ヶ島地区)

^{*23} 「トトコの森」...トトコのふるさと基金がナショナル・トラストで取得した狭山丘陵の土地の愛称。1991年に初めて取得した森を「トトコの森1号地」と名付け、以来2016年11月までに40ヶ所の「トトコの森」が誕生しており、うち18ヶ所が所沢市内に立地する。「クロスケの家」は同基金が活動拠点として管理している古民家。

主要施策3 - 1 - 2 : 中心市街地の活性化

中心市街地への来訪者を拡大し、商業等の活性化を図るため、回遊性の高いイベントやにぎわいづくりを行う事業等を行い、地域のコミュニティの育成、商店街の連携強化と活性化を図ります。



ところざわまつり

主要施策3-1-3 : 狭山丘陵の魅力の発掘・向上

狭山丘陵の持つ魅力を最大限に発揮し、エコツーリズム*24等を推進していくため、より多くの来訪者が楽しめる環境整備を図るとともに、周辺自治体とも連携しながら、狭山丘陵一帯の広域的な観光振興に向けた体制構築と情報発信の充実を図ります。



いきものふれあいの里



狭山湖周辺人道橋イメージ図



空からみた狭山丘陵

主要施策3 - 1 - 4 : 商店街の活性化

市民の日々の暮らしを支えている商店街や身近な商店等に対しては、主体的・先進的な取組を促進するとともに、組織化・ネットワーク化を推進するなど、所沢市商業振興条例を踏まえ、地域の特性に応じた商業の活性化を図ります。



和ヶ原商店街の支えあい事業



*24 エコツーリズム...観光や旅行を通じて自然保護や歴史・文化、環境保全への理解を深めようという考え方、又はそのような考えによる観光の一形態。



施策の柱3 - 2 : にぎわい拠点のネットワーク形成

「ところざわサクラタウン」や所沢駅周辺の再開発地区など、本市の東部や中心部で整備が進められている新たなにぎわい拠点と、市西部の狭山丘陵や狭山湖といった自然豊かな観光交流拠点とのネットワーク化を図り、より多くの人々が市内各所を巡って本市の多彩な魅力に触れるなど、市内の回遊性を高めることによって、それぞれのにぎわい拠点の集客効果が市全体に広がり、観光産業全体が活性化すると期待されます。

また、本市が位置する埼玉県西部地域には、公園や博物館、街並み景観、特産品の生産・加工施設など、多くの魅力的な観光拠点や観光資源が分布しており、本市と同一鉄道沿線にある近隣の飯能市、狭山市、入間市の4市は、首都圏における豊かで魅力溢れる都市圏を創造することを目指して、昭和63年に「埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）」を設立し、相互に交流・連携を図りながら広域的な活動を展開してきました。今後も、こうした連携の枠組みを生かし、広域的な観光・交流の推進に向け、周辺自治体と協議・検討を行い、都県境を越えた県西部地域一帯の集客力の向上につなげていきます。

さらに、「COOL JAPAN FOREST 構想」や所沢駅周辺の再開発などに加え、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたインバウンドの拡大により、本市には国内外からこれまで以上に多くの観光客が訪れることが予想されます。このため、外国人観光客等にも対応した受け入れ体制を、ハードウェア（立地、建物、設備など）ソフトウェア（サービスの企画、組織体制など）ヒューマンウェア（従業員が実際に行うサービスなど）の各側面から検討・推進していきます。

主要施策3 - 2 - 1 : にぎわい拠点間の回遊性の向上

「ところざわサクラタウン」や所沢駅周辺の再開発等の新たなにぎわい拠点と、「狭山丘陵」や「狭山湖」など自然豊かな市西部の観光交流拠点を結び、市内での観光客の回遊性を高める方策を検討するとともに、健康増進や生涯学習など多様な施策との連携を図り、回遊する価値を高める取組についても検討します。

主要施策3 - 2 - 2 : 広域連携による観光の振興

県西部地域の自治体や「アニメ聖地」等のテーマでつながる全国各地の自治体とも連携を図るとともに、埼玉県と東京都が含まれる狭山丘陵など県域を越えた自治体とも連携を図り、広域的な観点から観光振興を推進し、魅力発信の相乗効果と集客力の向上を目指します。



COOL JAPAN FOREST 構想パンフレット

主要施策3 - 2 - 3 : 観光客の受け入れ環境の充実

拡大しつつあるインバウンド消費を着実に取り込むため、看板や各種表示の多言語化、Wi-Fi（公衆無線 LAN）の整備を進めるなど、外国人観光客にも対応した受け入れ環境の充実を図るとともに、観光に関わる事業者や市民と連携・協働し、観光サービスの向上を図ります。

施策の柱3 - 3：観光を軸としたブランド化の推進

食の分野は、農業はもとより、食料品製造業や卸売・小売業、飲食業、運輸業など、様々な産業への波及効果が期待できる分野であると同時に、観光と結びつけることによって内外に本市の魅力を広く情報発信することのできるチャンネルとなります。本市には、「狭山茶」をはじめ、里芋や人参、ぶどうなど多くの特産品がありますが、なかでも「狭山茶」は生産から加工、販売まで一貫して行う伝統的な6次産業のシステムに基づいて展開されており、全国的な知名度も高く、観光資源として高いポテンシャルを有しています。

また、これらの地域で採れた農産物を地域で消費する「地産地消」の推進や体験農場の利用促進は、食の安全と農業への理解、域内消費の拡大はもとより、市外から訪れた観光客に対しても「農のあるまちづくり」を発信していく有効な手段です。

さらに、本市は日本初の飛行場が開設された「日本の航空発祥の地」であり、飛行場の跡地を利用して整備された所沢航空記念公園と所沢航空発祥記念館は、本市を代表する観光スポットとなっています。また、本市を本拠地に行っている埼玉西武ライオンズとはフレンドリーシティ^{*25}として連携を進めています。市内にはこのほかにも地域固有の自然資源や文化資源が多く賦存しているほか、整備が進められている「ところざわサクラタウン」は、アニメ文化をはじめとする日本最大級のポップカルチャーの発信拠点となることが期待されています。

そこで、こうした市内の様々な観光資源や特産品について発掘・開発し、一層磨きをかけるとともに、観光を軸とした取組を通じて、本市のブランドイメージを高めていきます。

主要施策3 - 3 - 1：地域産品のブランド化の推進

全国的な知名度も高い「狭山茶」をはじめとする特産品や、日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」^{*26}など、本市ならではの農業資源や食文化を発掘・再評価し、イベントの開催等を通じて、高付加価値化とブランド力の向上を図ります。



駅前茶園での茶摘みの様子



武蔵野の落ち葉堆肥農法（落ち葉掃きの様子）



特産品創出支援事業 PR チラシ

^{*25} フレンドリーシティ...地域振興・スポーツ振興・青少年の健全育成などの分野において、(株)西武ライオンズと連携協定を締結した市町村。

^{*26} 武蔵野の落ち葉堆肥農法...平成29年4月に日本農業遺産として認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町の3市1町における取組で、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続と推進を図るもの。



主要施策3 - 3 - 2 : 食を通じた新たな魅力の創出

「食」を生かし、より一層まちの魅力とにぎわいを向上していくため、地域の飲食店が共同で取り組むイベントを積極的に支援するとともに、独自の伝統的な食文化の発掘・ブランド化を推進し、その普及を図ることにより、本市の魅力を広く発信していきます。



所沢ソラバル2017^{*27}



手打ちうどんと焼きだんご



新名物 ところざわ醤油焼きそば

主要施策3 - 3 - 3 : 農のあるまちづくりの推進

体験農場や農作物収穫体験、地域住民との交流などを通して、生産者と消費者の相互理解を図り、「農のあるまちづくり」を目指すとともに、都市農業振興基本法を踏まえた都市農業^{*28}を推進していきます。



体験農場講習会

主要施策3 - 3 - 4 : 地産地消の推進

所沢産農産物直売イベント「とことこ市」の開催や学校給食への食材の提供など、様々な場面や機会を通じて、所沢産農産物の利用促進に努め、「地産地消」を推進します。



所沢産農産物直売イベント「とことこ市」



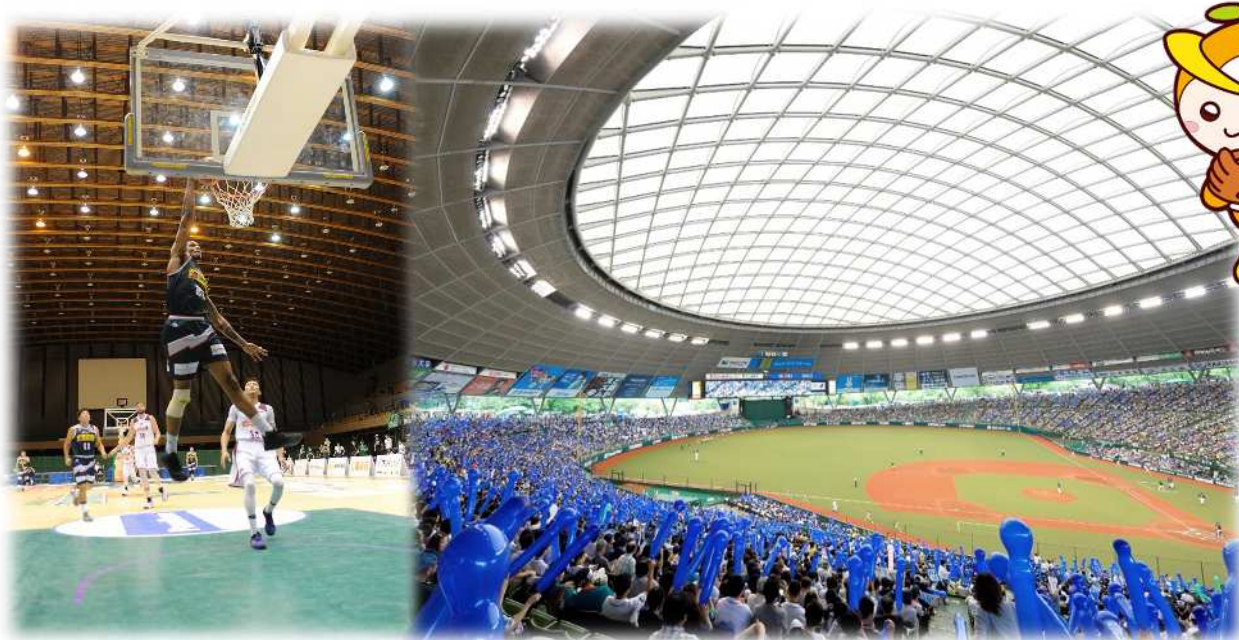
地産地消推進イベント「ちょいバル」

^{*27} 所沢ソラバル...地域の美味しいお店をハシゴしながら、食べ歩き・飲み歩き・まち歩きをするイベント「街バル」の所沢版イベント。

^{*28} 都市農業...都市農業振興基本法に規定される「都市農業」とは、市街地及びその周辺の地域において行われる農業を指し、都市農業の安定的な継続と多様な機能の発揮を通じ、良好な都市環境の形成に資することを目的とするもの。

主要施策3 - 3 - 5 : ブランド価値の向上

本市には様々な“所沢らしい”と感じる魅力的なコンテンツが存在しています。こうした観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高め観光資源としてのポテンシャルの向上を目指します。また、ブランド価値を高めることで、観光客のみならず“ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成します。



埼玉ブロンコス

西武ドーム©SEIBU Lions



市民文化センター「ミューズ」

©Tokorozawa MUSE



所沢航空記念公園



施策の柱 3 - 4 : 観光客誘致の強化

本市は多彩な観光資源を有しており、観光客を意識した基盤整備が進むことで、観光による魅力的なにぎわい空間が創出されます。

また、観光拠点の基盤整備が進捗すると同時に、国内はもとよりインバウンドも視野に入れた効果的なプロモーションを展開していくことが必要であり、本市の多彩な観光資源を訪れる人々の視点に立った観光客の求める情報発信をしていかなければなりません。近年、SNS^{*29}による情報拡散のスピードは速まり、質・量ともに増加傾向で既に生活の中でSNSは一般化し、紙媒体のプロモーションとは異なる広がりを見せています。

観光客誘致につながる効果的なプロモーションを行うためには、関係団体や民間事業者等との連携を一層強化し、所沢市観光協会のネットワークや機動力、商工団体や関係事業者等の発信力など民間活力を生かしながら、それぞれの主体が情報を共有し、重層的に絶え間なく情報発信していくことが必要で、スピード感のあるタイムリーなプロモーションが期待されます。

そこで、観光客誘致に向けた取組を充実していくために、所沢市観光協会や関係団体等との連携を強化するとともに、発信力のある観光大使の活躍や多様なメディアを活用した情報発信を推進し、効果的な観光客誘致プロモーションの取組を強化していきます。

さらに、インバウンドへの対応を推進するため、観光客のニーズや好みを把握しながら、観光ガイドの製作や情報誌への掲載、インフルエンサー^{*30}の活用など、ターゲットとなる観光客を意識したプロモーションを進めていきます。

主要施策 3 - 4 - 1 : 効果的な観光客誘致プロモーションの推進

所沢航空記念公園や狭山丘陵をはじめとする本市固有の自然・文化資源や「ところざわサクラタウン」等の新たな観光資源を生かしたプロモーション活動を積極的に展開し、観光客の誘致につなげます。

また、所沢市観光協会や商工団体、関係事業者等との連携を図り、観光大使やイメージマスコット「トコロん」を活用しながら、多様なメディアからの情報発信を積極的に行い、効果的な観光客誘致プロモーションを推進します。



イメージマスコット「トコロん」



観光大使を務める所沢出身力士「北勝富士」ほくしょうふじ

^{*29} SNS...ソーシャルネットワークサービス (Social Networking Service) の略。登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのこと。Facebook、Twitter、LINE など。

^{*30} インフルエンサー...人々に影響を与える人物のことを指し、特定分野に詳しい専門家やインターネット・SNS等で強い影響力を発揮するキーパーソン。

豊富な観光資源

～みどり豊かな自然～



観光農園

みどりのふれあいウォーク



～中心市街地のイベント～

狭山湖のサクラ



ところざわまつり

冬の風物詩『サンタを探せ!』



先導プロジェクト C 「所沢ブランド」の向上プロジェクト

首都近郊にありながら豊かな自然資源や歴史資源が多く残る本市において、新たな観光・交流拠点の整備が進められ、この機会を捉え、市内のあらゆる分野・業種・地域の産業が活性化するように、テーマ性のある観光拠点づくりを進めるとともに、各拠点と既存の地域資源との回遊性を高めるため、ハード・ソフト両面から施策を展開して、国内はもとよりインバウンドも視野に入れた市全域の魅力向上につなげていきます。

また、都市近郊農業のメリットを生かし、「狭山茶」等の高品質な農産物を中心に「所沢ブランド」を確立・発信するとともに、身近に農に触れられる環境の整備を図り、観光客はもとより市民のくらしのうおいと魅力を高めていきます。

さらに、埼玉県西部地域まちづくり協議会の取組実績も生かし、みどり豊かな「狭山丘陵」を囲む周辺自治体と連携し、エリアの魅力を最大限に高める広域的な取組を推進します。

実現に向けた取組

「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進

- ・「ところざわサクラタウン」を拠点とした魅力的な観光・交流エリアを創造するとともに、魅力的な観光ルートの造成や回遊性の向上を図り、効果的な魅力発信を行います。

狭山丘陵の潜在的魅力の活用

- ・狭山湖周辺の狭山丘陵には、観光ぶどう園をはじめ魅力的な資源が存在することから、看板や道標等の整備を進めながら地域資源を磨き上げるとともに、狭山丘陵周辺自治体と連携し、点在する観光資源を広域的に繋げ、観光客の滞在時間が増加するよう周辺地域一帯の活性化を図ります。

商店街による先進的な取組の推進

- ・商店街がそれぞれの地域の個性や課題、特徴等を踏まえて自ら企画する新たなにぎわいづくりの取組や公益的な活動を積極的に推進します。

「狭山茶」のブランド力の向上

- ・本市の特産品であり、食や体験、お土産など、観光資源としても様々な可能性を持つ「狭山茶」の農業遺産への認定を目指し、ブランド力を向上させることで、本市全体の魅力向上を図ります。また、ブランド力を生かしたインバウンド戦略や海外への販路拡大も推進していきます。

農業体験の推進

- ・首都近郊という有利な立地と地域の農業資源を生かし、誰もが身近に自然に親しみ、農業に対する理解を深めることができるよう、体験農場の整備・活用と利用者の拡大を図ります。

メディアを活用したプロモーションの充実

- ・映画やテレビ番組等の撮影場所誘致や、撮影支援を行うロケーションサービスを推進するとともに、SNSをはじめとする様々なメディアを活用した効果的な情報発信を図り、観光客の誘致につなげます。

計画期間における目標指標

指標名	現状値	目標値				
	2016	2018	2019	2020	2021	2022
観光入込客数	(万人)	(万人)	(万人)	(万人)	(万人)	(万人)
1年間(1月～12月)の観光施設・イベント等の入込客数の推計値。現状値は埼玉県入込観光客推計調査(観光地点等入込客数調査)。	550	560	570	660	690	720

重点事業 1 旧コンポストセンター跡地利活用事業【既存】

「COOL JAPAN FOREST 構想」の一環として整備が進められている「ところざわサクラタウン」に隣接する旧コンポストセンターの跡地を整備し、観光客誘致の拠点となる施設の建設を目指します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間			—————		—————▶				
目標指標	【指標】 新たな拠点施設への来場者数									
	-	-	-	80万人	100万人	120万人				

重点事業 2 (仮称) 狭山湖周辺活性化事業【新規】

狭山湖周辺の観光拠点としてのさらなる魅力向上を図るため、狭山湖周辺の自治体と連携した事業を実施します。また、「トトロの森」周辺地域における散策路付近の整備等を行い、観光客誘致に伴う環境整備を推進します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間		●—————				—————▶				
目標指標	【指標】 RESAS 目的地分析による「狭山湖」検索回数									
	134回	140回	147回	154回	160回	167回				

重点事業 3 (仮称) 観光客回遊性創出事業【新規】

本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討を進めます。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間			●—————		—————▶				
目標指標	【指標】 観光入込客数									
	550万人	560万人	570万人	660万人	690万人	720万人				

重点事業 4 体験農場利用者ステップアップ事業【既存】

体験農場利用者に対する技術講習会や体験農場でのほ場コンテスト等のイベントの開催を通じて、利用者同士の交流促進と栽培・生産意欲の向上を目指します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間		—————				—————▶				
目標指標	【指標】 事業への参加者数									
	296人	300人	—————▶			300人				

重点事業 5 (仮称) インバウンド戦略推進事業【新規】

Wi-Fi(公衆無線 LAN)の設置を進めるなどの環境整備や情報発信を行なうとともに、Facebook や Twitter を活用して本市の魅力を広散し、観光客の誘致につなげます。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施期間		●—————				—————▶				
目標指標	【指標】 Facebook「いいね」と Twitter フォロワー数の合計									
	5,000人	5,100人	5,200人	5,300人	5,400人	5,500人				



アクションプラン

主要 施策	主な取組	スケジュール(年度)			取組主体			
		2018 }	2019 }	2023 }	市	商 工 会 議 所	団 体 ・ 機 関 等	事 業 者
3-1-1	「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進							
	既存の観光資源の適切な維持管理							
	新たな観光資源の発掘と磨き上げ							
3-1-2	中心市街地の魅力向上と商業活性化の促進							
	歴史・文化資源を活用したにぎわいの創出							
3-1-3	狭山丘陵の潜在的魅力の活用							
	狭山湖周辺の観光農園の整備・活性化							
3-1-4	商店街による先進的な取組の推進							
	商店街活動の活性化の推進							
	商店街(会)の新たな組織化やネットワーク化の促進							
3-2-1	地域公共交通等を活用した回遊性の向上							
	シェアサイクル等の新たな交通手段の導入							
3-2-2	ダイヤプラン圏域の広域観光・交流の推進							
	他自治体と連携した広域的な観光PRの推進							
3-2-3	外国人観光客等の受け入れ環境の整備							
	おもてなし人材の発掘・育成							
	観光施設や設備の充実							
3-3-1	「狭山茶」のブランド力の向上							
	日本農業遺産のブランド活用							
	魅力ある新たな地域産品の創出							
3-3-2	食をテーマとしたイベント・取組の推進							
	伝統的な食文化の発掘・ブランド化の推進							
3-3-3	農業体験の推進							
	農業資源の保全と都市農業の推進							
3-3-4	イベント等を通じた地産地消の推進							
	所沢農産物の消費拡大と利用促進							
3-3-5	航空発祥の地をPRする機会の拡充							
	プロスポーツとの連携推進							
	音楽のあるまちづくりの連携推進							
3-4-1	メディアを活用したプロモーションの充実							
	観光関連団体等との連携強化							

アクションプランの見方について

- の取組は、「先導プロジェクト」の「実現に向けた取組」です。
- ・「スケジュール(年度)」は、それぞれの取組が一定の成果(実績)をあげると想定する時期です。
- ・「スケジュール(年度)」の記号のうち、 } は新規、 } は既存を表しています。

基本方針 4：次代の地域産業を担う人づくりとつながりづくり

【施策の視点】

本市では、平成 23 年ごろまで出生数が死亡数を大きく上回っていましたが、近年はその差が縮小しています。また、生産年齢人口（15～64 歳）も近年では転出超過となっており、今後さらに減少すると見込まれることから、地域経済の縮小とそれに伴う地域産業の衰退という悪循環に陥ることが危惧されます。

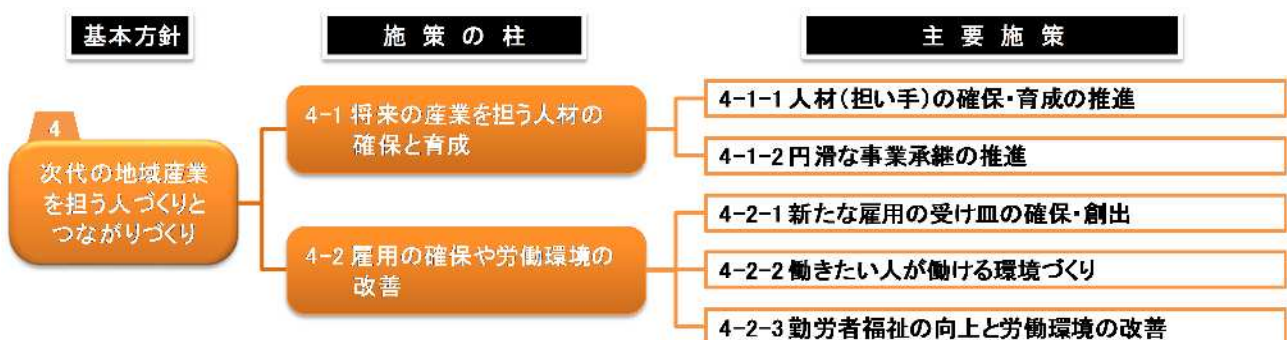
また、市内事業所等に対するアンケート調査の結果をみても、いずれの産業分野においても従業員や農業担い手の高齢化、後継者の確保が経営上の大きな課題となっています。

一方、市内では近年、商業や農業等の産業分野で経営者の研究事業を行うグループや後継者を育成する団体等により、次世代の担い手を育成する様々な活動が展開されています。

今後も活力のある産業構造を維持していくために、本市の産業を担う経営者はもとより、その後継者や技能をもった技術的な人材、魅力あるサービスを生み出し提供する専門的な人材など、企業の将来を担う人材を関係機関と連携して確保・育成するとともに、次世代の人材を育成していく産業界の自助的な取組を積極的に支援していきます。

また、これまで総人口が順調に増加してきた本市においても、平成 27 年国勢調査では人口が減少に転じるなど、全国的に進む人口減少・高齢化の影響を免れ得ず、特にこれからは労働力人口が減少していくことが予測されます。

このため、若い世代の就労支援に取り組むとともに、就労意欲のある女性や高齢者など、働きたい人が積極的に社会参画を果たしていけるよう、職業能力の向上が図れる機会を創出するとともに、国、県などの関係機関と連携しながら就労を支援していきます。



施策の柱 4 - 1 : 将来の産業を担う人材の確保と育成

今後少子・高齢化がいつそう進み、生産年齢人口の減少が見込まれるなか、地域産業の持続的発展を目指すためには、産業を支える基盤となる人材の確保が重要です。

一方、本市に住む15歳以上の就業者のうち半数以上が市外で従事しており、労働力の市外への流出が続いています。これを裏付けるように、市内事業所等に対するアンケート調査においても、農業・商業・工業・観光業のいずれにおいても、多くの事業所から人材不足や後継者不足が大きな課題として挙げられており、また行政に求める支援策としても「人材の確保・育成に係る支援」が上位に挙げられています。

そこで、本市の産業が引き続き活力を維持していくためには、人材の確保・育成と円滑な事業承継に向けた取組が喫緊の課題であり、学生に向けた就職情報の発信や農業後継者の確保、商店や事業所等を対象とした事業承継など、人材の確保と育成に積極的に取り組んでいきます。

主要施策 4 - 1 - 1 : 人材(担い手)の確保・育成の推進

学生への情報提供等を行い、次代を担う若年人材の確保を推進するとともに、市内事業者や関係団体等が行う人材育成に係る取組を推進します。

また、新規就農者や農業後継者など次代の農業を担う若手農業者に対する取組の充実や、高齢者や障害者等の農業参画を図る「農福連携」^{*31}について、研究していきます。



新規就農支援の様子

主要施策 4 - 1 - 2 : 円滑な事業承継の推進

経営者の高齢化に直面する事業所等に対しては、所沢商工会議所や金融機関などと連携しながら事業承継に関するセミナーや交流会、相談会を開催するなど、円滑な事業承継に向けた取組を行います。

^{*31} 農福連携...農業と福祉の連携。高齢者の経験者や知識、技術を生かし、生きがいを持って農業に関する活動を推進するとともに、主に知的・精神的障害のある人の農業分野での就労を支援すること。

施策の柱 4 - 2 : 雇用の確保や労働環境の改善

2020年の完成に向け整備が進められている「ところざわサクラタウン」に関しては、その建設にあたり多くの雇用が誘発されるだけでなく、施設の運営に関し、新たな雇用が生まれることが予想されています。今後も、さらに積極的な企業誘致を図るとともに、市民の市内雇用を促進することで、基本理念に掲げた「活力ある産業と豊かなくらしの融合」を実現していくことが重要です。

人口減少下において地域経済が活力を維持していくためには、女性や高齢者、障害者等の積極的な労働参加も不可欠です。これは単に労働力の確保という点で有効だけでなく、例えば女性の就労によって社会のニーズに即した新たな商品やサービスを生み出す裾野が広がったり、キャリアのある高齢者が仕事を通じて多くの経験に培われた知識や知恵、技能を次の世代に伝えるといった効果にもつながると期待されます。

さらに、「活力ある産業」と「豊かなくらし」を融合させていくためには、勤労者の生活の質の向上を図ることも重要です。

そこで、新たな雇用の受け皿の創出と働く意欲のある人の就労促進と併せ、働く環境や働く人の生活を支える環境づくりを推進していきます。

主要施策 4 - 2 - 1 : 新たな雇用の受け皿の確保・創出

「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進も含め、積極的に都市型産業を誘致し、市内での新たな雇用の受け皿の創出・増大を図るとともに、市内事業所に対し市民の積極的な雇用を働きかけます。

また、障害者雇用への理解を深め、就労機会を拡大するため、表彰や助成制度などにより、市内事業所における障害者雇用を促進します。

主要施策 4 - 2 - 2 : 働きたい人が働ける環境づくり

働きたい人がそれぞれのライフステージに応じて働くことができるよう、若者や女性、高齢者に対する職業相談や職業紹介、職業能力向上のための機会を充実させ、働く意欲のある市民の就労を促進していきます。



セカンドキャリアセンター所沢での就職相談

主要施策 4 - 2 - 3 : 勤労者福祉の向上と労働環境の改善

中小企業への退職金共済制度の普及促進や新規加入事業所への補助を行うとともに、勤労者福祉施設の活用促進等を通じて、勤労者福祉の総合的な向上を図ります。

また、仕事と職場の課題を解決するためのセミナーや相談事業の実施により、労働環境の改善を図ります。



ラク所沢（勤労者福祉施設）



先導プロジェクト D 次代の産業人材確保プロジェクト

これまで着実に人口が増加してきた本市においても、今後は将来的に労働力人口の減少が予測されており、地域産業の担い手となる経営者や従業者を継続的に確保していくことが喫緊の課題となっていることから、求人・求職活動に対する支援やマッチングの推進等により、労働力の流出を食い止め、職住近接を推進するとともに、関係機関と連携しながら円滑な事業承継に向けた支援を行います。

また、新規就農者や農業後継者に対する支援など、持続的な農業経営を支える担い手の確保や育成に対しても力を入れて取り組んでいきます。

さらに、就労意欲のある女性や高齢者等の市内での雇用機会を拡大し、地域産業の担い手として育成・支援していきます。

実現に向けた取組

学卒者など若年人材の確保の推進

- ・市内事業者の活性化と若者の定住促進を図るため、学生や大学等に対して市内事業者をPRし、市内事業者の若年人材確保を推進します。

新規就農者や農業後継者に対する取組の充実

- ・高齢化が進む農業における新たな担い手の確保・育成を図るため、新規就農者や農業後継者に対して初期投資や農作業の効率化に向けた設備投資を補助するなど、経営安定化に向けた取組を支援します。

事業承継に関するセミナー・相談会の実施

- ・市内事業者の安定的な事業継続と経営者の資質向上を図るため、高齢となり事業承継を希望する事業者や、事業承継により新たに経営を担うこととなった事業者に対して関係機関と連携して、セミナーや相談会等を実施します。

女性や高齢者等の就労支援

- ・生産年齢人口の減少が進むなかで、本市の労働力の確保・向上を図るため、ハローワーク所沢と連携し、就労意欲のある女性や高齢者等の市内事業所への就職につなげていきます。

計画期間における目標指標

指標名	現状値	目標値				
	2014	2018	2019	2020	2021	2022
市内事業所従業者数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
市内全事業所の従業者数の合計。現状値は平成26(2014)年経済センサス。	114,497	114,700	114,900	115,100	115,300	115,500

重点事業 1 (仮称) 人材確保推進事業【新規】

学生や大学等に対して、市内の中小企業の優れた技術・サービスを PR するなど、市内事業者の若年人材確保に係る取組を支援します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間	●	→							
目標 指標	【指標】 冊子・ホームページ等で紹介した事業者数(累計)									
	-	-	20 者	30 者	40 者	50 者				

重点事業 2 新規就農円滑化推進事業【既存】

新たな農業の担い手となる新規就農者に対し、農地の賃借料及び農業機械の導入経費の一部を補助することにより、初期投資の負担軽減や就労時間の短縮、農作業の効率化など、経営の早期安定を図るとともに、新規就農者数を増やします。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間										
目標 指標	【指標】 新規就農者数									
	3 人	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	○		○	○



新規就農者の農業機械導入の様子

重点事業 3 就労チャレンジ支援事業【既存・バージョンアップ】

ハローワーク所沢との連携により実施する、若年者向け就職面接会に加えて、女性や高齢者の雇用に積極的な市内の事業所等が参加する就職面接会を新たに開催することで、就労意欲のある女性や高齢者の就職を支援します。

	現状値	ビジョン計画期間(前期)					各主体の関わり			
	2016	2018	2019	2020	2021	2022	市	商工 会議所	団体・ 機関等	事業者
実施 期間		◆	→							
目標 指標	【指標】 就職応援フェア参加者数									
	82 人	100 人	100 人	100 人	100 人	100 人				

* 目標値は毎年「就労チャレンジ支援事業運営協議会」において見直しを行う予定です。



アクションプラン

主要 施策	主な取組	スケジュール(年度)			取組主体			
		2018 }	2019 }	2023 }	市	商 工 会 議 所	団 体 ・ 機 関 等	事 業 者
4-1-1	学卒者など若年人材の確保の推進							
	人材育成に係る取組の促進							
	新規就農者や農業後継者に対する取組の充実							
	「農福連携」の推進							
4-1-2	事業承継に関するセミナー・相談会の実施							
4-2-1	市内での雇用の拡大							
	障害者の就労促進							
4-2-2	女性や高齢者等の就労支援							
	求職者の職業能力の向上・開発							
	多様な就労ニーズとのマッチングの推進							
4-2-3	勤労者福祉の充実							
	労働相談・労働セミナー等の開催							
	学生等に対する労働知識提供の充実							

アクションプランの見方について

- ・ 色の取組は、「先導プロジェクト」の「実現に向けた取組」です。
- ・ 「スケジュール(年度)」は、それぞれの取組が一定の成果(実績)をあげると想定する時期です。
- ・ 「スケジュール(年度)」の記号のうち、 } は新規、 } は既存を表しています。



先導プロジェクトのロードマップ一覧

基本方針	先導プロジェクト	実現に向けた取組	重点事業	ビジョン計画期間(前期)				
				2018	2019	2020	2021	2022
1 発展的なイノベーションの創出	A 産業基盤の強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●製造業及び都市型産業の誘致 ●まちなか未利用不動産に係る情報収集と有効活用 ●(仮称)企業誘致連絡会の開催 ●関係機関と連携した総合的な起業・創業の促進 ●農商工連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致推進事業 (仮称)未利用スペースオフィス化事業 農商工連携推進事業 					
2 既存産業の活性化と新たな展開	B 競争力・成長力UPプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●新製品開発や販路拡大等の促進 ●関係機関と地域を牽引する事業者等の連携促進 ●認定農業者等の経営改善等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業 (仮称)地域の中核となる事業者等応援事業 認定農業者等経営改善推進事業 					
3 観光を軸とした新たな魅力と賑わいの創出	C 「所沢ブランド」の向上プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●「COOL JAPAN FOREST構想」の推進 ●狭山丘陵の潜在的魅力の活用 ●商店街による先進的な取組の推進 ●「狭山茶」のブランド力の向上 ●農業体験の推進 ●メディアを活用したプロモーションの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 旧コンポストセンター跡地利活用事業 (仮称)狭山湖周辺活性化事業 (仮称)観光客回遊性創出事業 体験農場利用者ステップアップ事業 (仮称)インバウンド戦略推進事業 					
4 次代の地域産業を担う人づくりとつながりづくり	D 次代の産業人材確保プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●学卒者など若年人材の確保の推進 ●新規就農者や農業後継者に対する取組の充実 ●事業承継に関するセミナー・相談会の実施 ●女性や高齢者等の就労支援 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)人材確保推進事業 新規就農円滑化推進事業 就労チャレンジ支援事業 					

…新規事業
 …既存事業

…新規事業のスタート時点
 …既存事業のバージョンアップ時点

